

水害が発生したら どうなるの？

平常時の備え

1 自宅の外ではこんなことが……

地震時の避難所へ避難すれば大丈夫だと思っていると……

！ 浸水する避難所もあります。

マンションだから大丈夫、2階以上だから大丈夫と思っていると……

！ 水道、ガス、電気、トイレが使えない状況で長いところでは1週間生活

すぐに誰かが救助してくれると思っていると……

！ 浸水の中に大勢の人救助しきれない

2 自宅の中ではこんなことが……

トイレが流せず汚物がゴミになる

洗濯できない

冷蔵庫の中身がダメに

テレビがつかない
携帯電話がつかない

暑くても……エアコンが使えない

のどが渇いても……水が出ない

ゴミがたまり続ける

熱中症

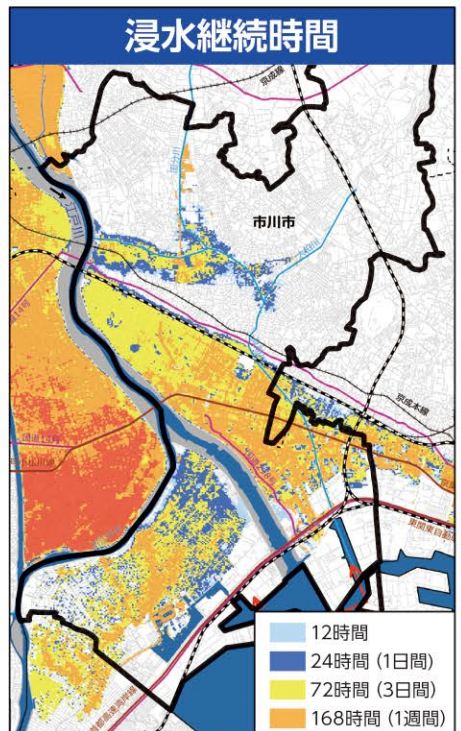
おなかをこわす

国の想定では、大規模な水害が発生すると、1週間も水がひかない地域があると想定されています。このような場合、各家庭での食料品や飲料水、トイレの備蓄が大変重要になります。

国土交通省の「浸水ナビ」では、江戸川の堤防が決壊後、どこが・いつ・どのくらい浸水するのかを詳しく確認できます。

国土交通省 浸水ナビ 🔍 検索

<https://suiboumap.gsi.go.jp/>



(参考) 国土交通省江戸川河川事務所「洪水浸水想定区域図」想定最大規模の降雨により江戸川が決壊した場合の浸水継続時間

台風がきたら どうする？

大雨前の備え

1 備蓄品を確認しましょう

電気・ガス・水道が停止すると、復旧までに長い時間がかかることがあります。高層マンションでは、エレベーターが停止すると、上の階に住んでいる人は飲料水などの重い物を運ぶのに大変苦労しますので、備蓄をしておきましょう。



2 台風の進路を確認しましょう

台風による被害は、台風の規模や進路に大きく影響されます。台風は、上から見て反時計回りに強い風が吹き込んでいるため、台風の進行方向に向かって右の半円では風が強くなります。強風や高潮への備えをしっかりとしましょう。



3 危険な時間帯を確認しましょう

気象庁では、市町村ごとに今後の警報・注意報の危険度を時間帯ごとに発表しています。



発表中の警報・注意報等の種別	今後の推移						
	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24
洪水 (洪水害)							

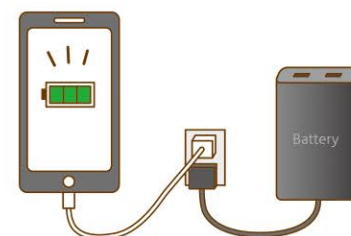
気象警報・注意報：市川市 🔍 検索

https://www.jma.go.jp/jp/warn/f_1220300.html

4 やってよかった！ 3つの満タン！

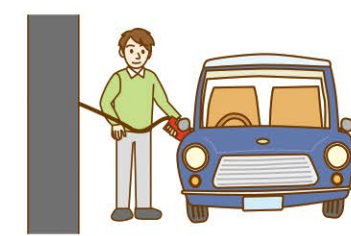
① 携帯電話のバッテリー

情報を集める上で携帯電話は大変重要です。停電時にも使えるようにしっかり充電しておきましょう。



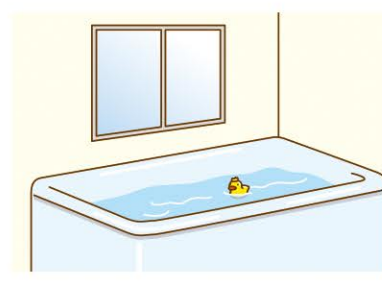
② ガソリン

停電時は自動車から電源を確保できます。
※浸水時に車で避難すると、水没して車に閉じ込められる可能性があります。



③ お風呂の水

断水した場合は貴重な生活用水として利用できます。



5 強い風への備え

周りの人に迷惑をかけないように、飛ぶと危険なものは対策をしましょう。

- ① 屋根に被害があった場合に備えて、ブルーシートを備蓄しましょう。
- ② 植木鉢などは、飛ばされないように家の中に入れておきましょう。
- ③ 雨戸がない窓は、カーテンを閉めたり、飛散防止フィルムを張りましょう。
- ④ 物干し竿は、飛ばされないようにおろしておきましょう。



平常時の備え

大雨前の備え

避難前に確認すること

避難時に注意すること